

1 今年度の地域防災支援業務の推進状況について（高知県での取組）

平時

- ・市町村との「顔の見える関係」深化
- ・気象防災ワークショップの開催
- ・地域防災計画等への助言
- ・市町村の過去災害に関する解説資料作成
- ・市町村の職員研修への講師派遣

緊急時

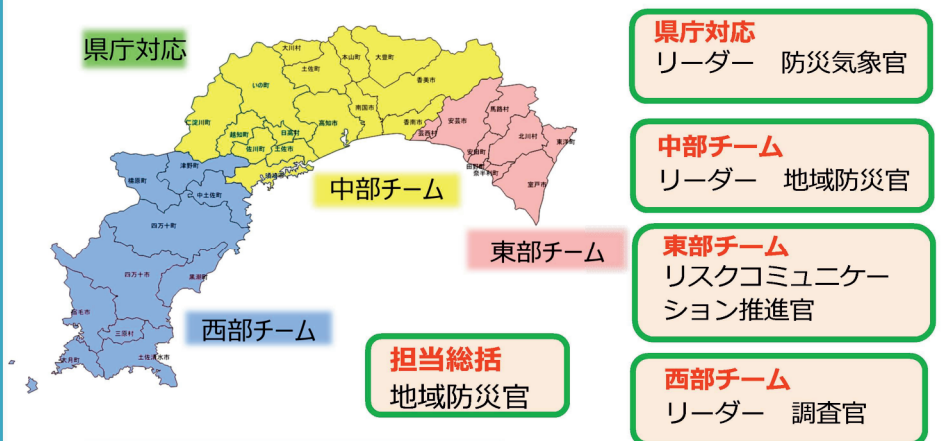
- ・防災メール等による注意喚起
- ・台風説明会等による注意警戒の呼びかけ
- ・ホットラインによる助言
- ・気象庁防災対応支援チーム（JETT）派遣

災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務

日常的に担当者との緊密な連携を図り、緊急時には自治体の防災対応を積極的にサポート。



ホットライン等の実施、JETT派遣

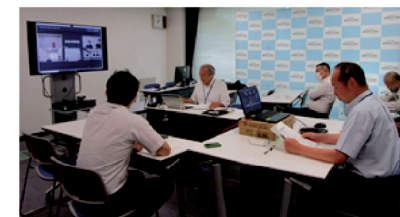
- ・令和6年台風第10号
台風説明会の開催（2回）
県災対本部会議で解説（右図）
市町村へのホットラインを実施
- ・令和6年4月の豊後水道での地震
宿毛市へJETT派遣
- ・令和6年8月の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）
解説資料に関する説明を実施
県災害対策本部会議で解説を実施
市町村へホットラインを実施



【県災害対策本部会議へ派遣】

市町村との「顔の見える関係」深化

- オンラインによる市町村訪問
- ・出水期前に気象台から発表する防災気象情報の再確認
 - ・防災メール、ホットラインの紹介



【市町村訪問（オンライン）】

- 日常的な防災対策へのサポート
- ・地域防災計画などへの助言

「振り返り」の業務改善への活用

災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

自治体の防災対応や防災気象情報の利用状況を把握するとともに、気象台への要望や意見交換等を実施。

- ・令和5年6月の大雨
土佐清水市、四万十市他3市町
- ・令和5年8月の台風第6号
5町村
- ・令和6年台風第10号
全市町村へオンラインアンケート
- ・令和6年台風第10号及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）
黒潮町、室戸市、宿毛市、津野町



【室戸市との振り返り】

2 新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに**レベル4相当の情報として危険警報を新設**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 高波による浸水	住民が 取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う